

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一

No.1842 令和 05 年 12 月 06 日 第 19 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 古田哲朗)



■熊本東南ロータリークラブの歌「Joyful And Good」

■来訪者紹介 (会長 中島祐爾)

卓話者 追立武 地区社会奉仕部門長 (熊本西稜RC)

■今月の誕生祝

お誕生日
おめでとうございます

12月誕生祝

【会員】
鈴木義親 会員 12月15日
福井 学 会員 12月21日

【配偶者】
山坂由美子 様 12月23日
内田明子 様 12月29日



■次年度地区委員委嘱状の授与

彌富照皇 会員・・・ロータリー財団副部門長、
ロータリー財団副委員長、
ロータリーカード推進委員

宮川義行 会員・・・米山資金推進委員

武末直大 会員・・・グローバル補助金・
ポリオプラス委員



■会長の時間 (会長 中島祐爾)

※無し (時間調整のため)



■幹事報告 (幹事 緒方公一)

■クラブより

1) 本日の例会終了後に、第6回定例理事会を開催いたします。

2) 40周年式典の件。



■ロータリーの友紹介

(雑誌・会報担当 松尾 浩)



今月は疾病予防と治療月間です。

横書き

P5 会長メッセージサンジ・スリカンサン「自然」に対する認識の違い
P7~P13 認知症について、ドクターの記事。アルコール摂取
新薬レカネマブ年間390万(アメリカ)

ロータリアンは認知症になりにくい

P14~「大きな困難に立ち向かう」認知症の症状が書かれています。

P33 熊本グリーンRCの記事

縦書き

P4~P8「言葉」

人生という刺繍

■委員会報告

(社会奉仕担当 宮川義行)

本日は、(熊本東南RC独自に設定している)社会奉仕月間にあたり地区社会奉仕部門長の出前卓話をお願いいたしました。追立武様よろしくお願ひいたします。



■委員会報告

(親睦・スマイル担当 松岡泰光)

家族例会オークションの件



■委員会報告

(職業奉仕担当 古田哲郎)

職場訪問例会について

1月31日(水) ジェーンズ邸



■出席報告

(出席・プログラム担当 小竹 誠)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
11月22日	休会				
11月26日	42 (免3) 39	30 Zoom 2			76.92

☆退会 11月30日 矢野敬之

☆出席免除

12月06日

住江正治 島村徹男 志賀重人

☆欠席者



■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 松元将潔)



◎追立武 地区社会奉仕部門長 (熊本西稜 R C) 2,000 円

社会奉仕部門長の追立武と申します。本日は出前セミナーでおじゃま致します。何卒よろしくお願い致します。



◎鈴木義親 10,000 円

前年ながら大台に乗りました。これからもよろしくお願い申し上げます。誕生日ありがとうございます。

◎内田信行 5,000 円

愛する妻の誕生日ありがとうございます。

◎福井学 5,000 円

誕生日ありがとうございます。

◎宮川義行 4,000 円

本日は熊本西稜 R C の追立社会奉仕部門長の御来訪を歓迎いたします。出前卓話楽しみにしています。よろしく願いいたします。

いよいよ 12 月を迎えました。油断せずに、あと 3 週間と少し頑張りましょう。

◎山田公也 3,000 円

社会奉仕部門長 追立武さんのご来訪ありがとうございます。12月2日に日田で行われました次年度ガバナー補佐・部門長会議ではお世話になりました。古田次期職業奉仕部門長もお疲れ様でした。本日はよろしくお願い致します。



◎中島祐爾 2,000 円

熊本西稜 R C 追立様、本日の卓話よろしくお願致します。



◎彌富照皇 2,000 円

追立様の卓話はとても楽しみにしています。昨年のポリオデー募金活動と一緒に準備して頑張った仲間です。今日は宜しくお願致します。



◎小畑成司 1,000 円

社会奉仕部門長 追立さんのご来訪を歓迎いたします。卓話よろしくお願致します。

■卓話

「ロータリー地域社会共同隊 (RCC) について」



追立武 地区社会奉仕部門長



Khuree ロータリークラブ会員のトウメさん（写真右）と日本（第2660地区）のローターアクト、野村さん。この度の承認の一番の功労者であるトウメさんは元米山奨学生、大阪東ローターアクトクラブ元会員で、その後母国でロータリアン

になりました。

その後第二の申請書を提出するまで膨大なやり取りが続きましたが、なかなか両者着地点が見つからず、両国のプロジェクト代表提唱クラブ、財団担当職員、そして私の8名で、オンラインでの協議を行いました。このようなオンライン協議は初めてで画期的なことであり、現地ロータリアンの情熱と忍耐があったからこそ財団補助金担当職員をも動かし、最終的に承認に至ったと思っています。

今回明らかに感じたのは、文字通りインパクトのある奉仕、つまり今まで以上に持続可能性（受益社会の自立）と成果の測定（数値的根拠）を重視し、大切かつ限られた財団資金を注入していこうとするロータリーの姿勢です。

協働における公正さとインクルージョン

グローバル補助金は、ロータリアンですら難しい補助金です。しかしローターアクトはロータリアンのDNAを受け継ぎ、未来のロータリーの発展にはなくてはならないパートナーです。現在、ローターアクトのグローバル補助金は代表提唱者の一方がロータリークラブか地区である必要があるため、難しい申請や承認プロセスは私たち経験豊かなロータリアンが担うべきです。そして、ローターアクトが、可能であれば地域調査を行う、現地での活動で若い力を発揮する、プロジェクトの意義を理解する、未来の活動に思いを馳せて情熱を持ち続ける、そんなステージをロータリアンが提供すべきだと考えています。

日本の場合、多くのクラブや地区がRIの中核的価値観の一つである「多様性」を意識した結果、ローターアクトクラブとの奉仕活動における協働が進んできました。しかし、「公平さ」はまだまだ「平等」と誤認されているように思います。ローターアクトは、生活の糧である仕事を休んだり途中で抜けたりしてロータリー活動をすること、また経済的に多額の寄付や高額な参加費、登録費もまだまだ厳しい年代の会員が多いと思います。人生の色々なステージにいるローターアクトに、ロータリアンとまったく同様の活動や寄付を求めることは「公平」ではありません。財団補助金は会員からの寄付ですが、その多寡だけで参加を阻むようなことがないよう、もっと「公平さ」を推進すべきです。

補助金活動を協働で進めるとき、難しい申請プロセスはロータリアンが担当し、実際の地域社会における活動はローターアクトにリーダーシップを発揮してもらい、そして活動が成功裡に終わった時には互いを称え合うことが、インクルーシブな活動のあり方だと思います。

今後、世界と日本でローターアクトクラブによる財団補助金活動が益々活性化することを心より願っていますが、しばらくはロータリ

アンがしっかりと寄り添い、支援し、公平さに配慮すること、さらに活動ではローターアクトがイニシアチブを執るといった相互のメンターシップが重要だと思います。

これからグローバル補助金に挑戦しようというローターアクトの皆さん、財団からの承認が下りず心が折れそうになることもあるかもしれませんが、どうか皆さんの支援を必要としている人びとや子どもたちを思い、あきらめず挑戦し続けてください！



【寄稿者プロフィール】

宮里唯子（みやさと ゆいこ）

特定化学物質などを扱う労働環境の科学的分析と改善提案、工業系および医療系クリーンルームの日常的衛生管理などを主力とする株式会社日本保健衛生協会の代表取締役社長。茨木西ロータリークラブ（第2660地区）会員として、約20年にわたり地区でリーダーシップを発揮し、国際奉仕委員長、財団委員長、地区代表幹事などを歴任後、地区初の女性ガバナーとなる。地区のビジョンとしてDEIの実現をうたい、現在はRI/TRF合同DEI諮問委員会の委員を務める。会員が自分らしさを探求することをためらう必要がなく、歓迎されていると感じられるようなロータリーを思い描き、DEIはロータリー全体にとって必要不可欠である一方、地域のニーズに合わせて協力することで新たな高みを目指すことができると信じている。

ロータリーボイスより

FaceBook

